

静岡がんセンターを中心とした膵がんの研究が、米国臨床腫瘍学会の“注目すべき研究 (noteworthy studies)” のひとつに選ばれました

2012年12月26日
静岡県立静岡がんセンター

米国臨床腫瘍学会 消化器がんシンポジウム「[2013 Gastrointestinal Cancers Symposium](#)」で発表予定の「膵がんの術後補助化学療法におけるゲムシタビン療法と S-1 療法の第Ⅲ相比較試験 (JASPAC 01※1) (研究代表者：静岡がんセンター 肝・胆・膵外科部長 上坂克彦)」の研究が、最新の進歩をとげた重要な内容であるとして、当学会の注目発表5研究の一つに選ばれ、事前記者発表される予定となりました。

報道関係者に対しては、学会発表前の2013年1月22日(火)12時~13時30分(米国東部時間)(日本時間:23日AM2時~3時30分)に米国臨床腫瘍学会が主催する事前記者発表会が開催されます。この記者発表会参加のための事前登録の締め切りは、1月18日(金)(米国東部時間)です。下記サイト情報※2を参考にしてください。

また、事前記者発表会と同じ内容の日本語版を1月22日(火)18時(米国東部時間)(日本時間:23日AM8時)以降、静岡がんセンターのホームページ・新着情報などにてお知らせいたします。

本研究の詳細な結果は、1月25日(金)14時より、米国臨床腫瘍学会 消化器がんシンポジウム(米国サンフランシスコ)にて学会発表※3されます。

※1 JASPAC 01 について

膵癌補助化学療法研究グループ (Japan Adjuvant Study Group of Pancreatic Center)

<http://www.fuji-pvc.jp/center/jaspac/nojoin.aspx?j=1>

※2 米国臨床腫瘍学会の記者発表について

January 22 Presscast to Highlight Important Research From the 2013 Gastrointestinal Cancers Symposium (資料1)

※3 「2013 Gastrointestinal Cancers Symposium」: <http://www.gicasym.org/>

Meeting Program : <http://www.gicasym.org/meeting-program>

※本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

静岡県立静岡がんセンター マネジメントセンター 医療広報担当 TEL 055(989)5222